

日衛連

JAPAN HYGIENE PRODUCTS
INDUSTRY ASSOCIATION
発行／社団法人 日本衛生材料工業連合会

No.56

2006.7

紙おむつNews

特集
Feature Articles

中国の地方都市・昆明を訪ねて 介護施設、衛生用品企業の視察報告

中国政府の発表によれば、中国経済はここ数年7~9%大の伸びを見せ、2006年には10%に達すると予測しています。しかし、急激な経済成長を続ける沿岸都市部と、その他の内陸地域での所得格差は年々大きく広がっているとも報じられています。

日衛連では中国造紙協会・生活用紙工業会との交流促進を目的に毎年中国を訪れ、介護施設の視察、衛生用品企業との交流を続けてきていますが、訪問した都市は経済発展最前線といわれる上海をはじめとする沿岸地域が中心でした。

そこで今年4月、中国造紙協会・生活用紙工業会が中国西南部の雲南省・昆明市で開催したCIHPEC 2006 (13th China International Household paper Exhibition) を視察した際に、沿岸地域以外の中国地方都市における高齢者介護施設や衛生用品企業を訪れました。

● 昆明市の概要

中国南西部の大都市

昆明市のある雲南省は、中国の最西南部に位置しています。南部でベトナムとラオス、南部から西部にかけてミャンマーとそれぞれ国境を接しています。また、北西部はチベット自治区、北部は四川省、北東部は貴州省、東部は広西チワン族自治区と接しています。

省都・昆明は海拔約2,000mの高地にあり、アジア気候帯に属しているため雨季乾季があり、夏はスコールを伴う雨季、冬は乾季になります。また標高が高いため、1年中で最も暑い雨季前の5月でも30℃には届かず、一方冬も稀に雪が降る程度です。一年中穏やかな気候に恵まれ、1年を通して花が咲き乱れるところから、「春城」の愛称でも親しまれています。



昆明市の人口は500万人。街は高層ビルが林立し、東南アジアでも、タイのバンコク、ベトナムのホーチミンシティに次ぐ大都市です。また、昆明市は歴史文化遺産が多く、中国10大観光都市のひとつともなっており、1999年から2000年にかけて世界花博覧会が開催されました。この地方の特色は少数民族が多いことで、政府が認定している55民族のうちの26民族が雲南省に住んでいます。



昆明市街

所得水準は中国の平均値

都市と農村の住民の生活も年々改善され、2004年現在の平均所得は都市部では一人当たりの可処分収入は9,046元（131,684円、1元＝14円として）、農民一人当たりの純収入は2,909元（40,726円、同）で、それぞれ前年比7.2%、6.4%増加しています。この数字は中国の平均国民所得とほぼ同じ水準といわれています。



昆明市の朝の出勤風景

老人介護施設視察

● 雲南老年之家 長青公寓を訪ねて

1995年に国営施設としてつくられた「雲南老年之家 長青公寓」は、昆明市の西部の静かな住宅地にありました。現在は雲南省政府の衛生局老年事務室が運営しています。運営を開始してから12年、入居者数は延3,000名を超えています。

所長の陳志華さんは「この施設は単なる老人ホームではなく、医療行為も行う医療施設に似ています」と紹介してくれました。事務職、介護職合わせて60名の職員と4名の医師で、250名の入居者を担当しています。入居者の約30%、80名余りが要介護者とのことでした。



陳志華所長



上海市より3割安い一般入居費用

一般居室の場合、入居費用は2人部屋で月額550元（1元＝14円として7,700円）。これを2人で使用すれば1人あたりは半額の275元となります。これに食費が月額150元プラスされます。部屋を一人で使った場合は月額700元、2人で利用した場合は一人当たり425元となります。

要介護者の場合は、ベット代の300元に食費200元が基本で、これに介護の程度に応じたサービス料金（250～650元）が加算されます。重度の介護者の場合は月額1,150元が必要になります。

これらの費用を、昨年訪問した上海の場合と比較してみました。

一般入居者の場合、昆明市の雲南老年之家は2人部屋を2人で利用すると一人当りの負担額は275円で、上海市の曹楊敬老院の700元よりも大幅に安くなっています。食費も昆明市150元に対して上海では180元とやや高くなっています。その結果、上海市の場合の1ヵ月880元に対し、昆明市でが425元と半分以下の費用で済みます。

	雲南老年之家	曹楊敬老院
入居費用※1	275元	700元
食費	150元	180元
合計	425元	880元

※1：入居費用は2人部屋利用の1人分負担額

重度の要介護者の費用はほぼ同じ

要介護の場合はどうでしょうか。上海の曹楊敬老院は一般入居者の費用に介護費用をプラスして月額1,130元でした。昆明市の雲南老年之家の場合は、入居費の代わりにベット費用が月額300元、食費が200元、重度の介護費用は月額650元となり、合計では上海の曹楊敬老院を上回る金額となります。

重度の要介護者の入居費用比較

	雲南老年之家	曹楊敬老院
ベット費用	300元	700元
食費	200元	180元
介護費用	650元	250元
合計	1,150元	1,130元

豪華ホテル仕様も含め3種類の入居棟

雲南老年之家には3種類の入居棟があります。

ひとつは自分のことは自分で出来る高齢者のための入居棟で3棟あります。外観はひと世代前の日本の公団住宅に似ており、4階建てでエレベーターはありません。バルコには洗濯物が干され、部屋にいるお年寄りの姿もちらほら見受けられました。

寝たきりの高齢者専門の棟には医師と看護師が常駐し、24時間態勢で介護がなされています。

さらにもう一つの棟は、陳所長の言葉を引用すれば、「豪華なシティホテル並みの内容を持つ」高級入居棟です。さほど広くない部屋に、二つのシングルベットと大型の液晶テレビが置かれただけの部屋の月額室料は、一般入居棟のおよそ2～3倍の1200～1700元と高価。しかし、訪問したとき



公団住宅に似た一般入居棟

にはこの棟にはほとんど人影もなく、バイキング形式の食堂は使用された形跡はありませんでした。陳所長は「もっと申込みがあると思っていたが…」と、見込みが大きく外れたと話していました。建設費の負担も大きく、訪問した時は予定の室料を20～30%ディスカウントして募集中でした。



ホテル並みの豪華仕様の室内



一般入居棟の内部を案内する陳所長

いまだ使用経験ない紙おむつ

昨年訪れた上海市の上海普陀区宜川泰山第二敬老院は中国では珍しい私立の老人ホームです。この施設にはおむつを必要とする人が15～16人ほどいましたが、2002年の開設以来すべて紙おむつだけを使用していました。平均の使用枚数は一人1日1枚～2枚が普通とのことでした。

紙おむつの種類は3種類で、テープタイプの紙おむつ、パンツタイプの紙おむつ、それに中国独特のシーツタイプ(日本のペットシーツに良く似ている)の紙おむつです。いずれも台湾製で上海の会社がパッキングをして販売しているとのことでした。価格はテープタイプで1枚あたり2元(26円)程度でした。劉院長は「紙おむつの費用は個人負担です。中国の老人の収入では紙おむつは高い」としながらも、交換の手間などを考えて紙おむつが最適と判断して採用したといいます。

同じく上海市の曹楊敬老院でも、失禁症状のある入居者には紙おむつ(テープ型)を使用していま

す。この製品は上海のメーカーのもので1枚1.5元(24円)でした。

高いといいながらも、これらの施設入居者が自己負担で紙おむつを使用できる背景には、上海市が中国トップの経済発展地域であり、生活者もその恩恵を受け所得水準が高いことの結果でしょう。

これに対し、昆明市の雲南老年之家では施設内での要介護者の排泄ケアは全て布おむつが使用されています。陳所長は「紙おむつが便利であることは聞いていますが今まで使用したことはありません。その理由はやはりコストが高いためです。紙おむつを1枚3元として、1日に5枚使用すれば、それだけで1ヵ月450元もかかります。この施設では1ヵ月の食費が150～200元です。それと比較して余りに高く、入居者がその負担に耐えられません」といいます。今後は普及し始めた尿取りパッドの併用も視野に入れつつ、今後のさらなるコストダウンに期待したいと話してくれました。

衛生用品企業視察

● 昆明宝利康医療衛生用品有限公司

手作業中心の不織布製ディスポキットメーカー

昆明市の地元衛生用品メーカーの「昆明宝利康医療衛生用品有限公司」は、従業員15名の中小企業。不織布の加工を主に、出産時や外科手術用のディスポサブルキットを生産しています。



中国共産党の従軍看護婦の幹部だった現社長(総経理)・欧虹飛氏の母親が、1970年代の中国・ベトナム紛争の際に、綿布不足から不織布を使ったディスポ用品を開発したのが始まりで、紛争解決後に母親が自ら設立した会社です。

工場ではW幅の不織布を大きなテーブルの上で女性3人がかりでカットしたり、不織布にポリエチレンシートを重ねミシンがけをするなど、全てが手作業で行われていました。



不織布製手術着と手袋、脱脂綿のセット

日本へ興味示すが品質管理で高いハードル

工場内視察後、社長・副社長から「将来、日本に輸出することも検討したい」との前置きで、我々に感想を求められました。井尻専務理事が代表して、日本の薬事行政、医療現場は“高品質”と“自己責任”を強く求めている旨を説明し、品質管理についてはISO取得を検討してはどうかとアドバイスしました。

これに対して、副社長からは「取得に向け準備中」との答がありました。志は高いものの、中国の一部地域でのビジネスで手一杯の状態、なおかつ情報量が少ないために、社長の夢をかなえるためには多くのハードルをクリアする必要があると感じました。



女性3人で不織布の原反を断裁

紙おむつ・ライナー生産数量（日衛連調べ）

〈単位：トン、千枚〉

			平成16年		平成17年		平成18年								
			年計	前年比%	年計	前年比%	1~3月	前年比%	4~6月	前年比%	7~9月	前年比%			
紙おむつ	大人用	（パンツタイプ）	テープ型	千枚	322,798	101	351,432	109	89,117	113					
			トン	41,461	103	45,327	109	11,380	113						
		パンツ型	千枚	428,920	120	499,119	116	136,469	130						
			トン	36,052	119	39,320	109	10,898	130						
		合計	千枚	751,718	111	850,551	113	225,586	123						
			トン	77,512	110	84,647	109	22,278	121						
		フラット型	千枚	381,023	97	364,102	96	85,825	95						
			トン	26,614	102	25,363	95	5,947	94						
		（パッド型／その他）	尿とりパッド	千枚	1,982,360	—	2,136,571	108	541,323	105					
				トン	85,012	—	90,681	107	23,505	108					
	軽装パッド 軽装ライナー		千枚	288,592	—	431,820	150	129,928	115						
			トン	3,518	—	4,694	133	1,459	113						
	合計		千枚	2,270,951	118	2,568,391	124	767,425	115						
			トン	88,530	112	95,375	118	29,056	119						
	合計	千枚	3,403,692	114	3,783,044	118	1,078,836	115							
トン		192,656	109	205,385	111	57,281	117								
乳幼児用	（パンツタイプ）	テープ型	千枚	3,373,206	93	3,687,071	109	830,660	102						
		トン	110,162	90	118,970	108	26,814	101							
	パンツ型	千枚	3,195,305	103	3,656,097	114	854,114	94							
		トン	142,088	101	150,571	106	35,505	96							
	合計	千枚	6,568,511	98	7,343,168	112	1,684,774	97							
トン		252,250	96	269,541	107	62,319	98								
合計	千枚	9,972,203	103	11,126,212	114	2,763,610	103								
	トン	444,906	101	474,926	109	119,600	106								
ライナー	千枚	70,532	88	62,150	88	8,901	49								
	トン	111	88	99	89	14	48								

※製品分類については、平成10年1月から発表 ※平成17年1~3月分より輸入分を含む ◆平成17年、18年の尿取りパッドの集計に一部誤りがあり、修正値を記載いたしました。

■寝たきりの人のおむつ代は、確定申告すると医療費控除が受けられます■

昭和63年1月からおむつ（寝たきり用）は、医療費控除の対象になっています。控除を受けるためには、①医師の発行する「おむつ使用証明書」②使用者の名前とおむつ代であると明記した「領収書」が必要です。詳しくは病院・医院、または税務署、市区町村役場にお問い合わせください。

紙おむつ・生理用品・衛生材料に関するご質問ご意見お問い合わせは下記へ